

支部だより/関連学協会情報

KN : Keynote Lecture

懇親会

<2 日目>

分科会報告

座長 名大 黒田光太郎

閉会の挨拶

豊橋技科大 梅本 実

4. 場 所 : 全トヨタ労連研修センター「つどいの丘」
愛知県西加茂郡藤岡町大字西中山字清水口 133
5. 参加費 : 8,000 円/人 (宿泊代, 懇親会費を含む)
6. 定 員 : 50 名 (先着順)
7. 申込期限 : 1991 年 10 月 31 日

8. 問合せ・申込先 :

氏名, 勤務先, 所属部課名, 所在地, 電話番号,
FAX 番号と参加希望分科会名を明記の上, FAX ま
たは郵便にて必ず事前にお申し込み下さい。

〒466 名古屋市昭和区御器所町

名古屋工業大学材料工学科金属材料コース内

若手材料研究会 連絡幹事 小坂井孝生

TEL (052)732-2111, 内線 2768

FAX (052)735-0487

関連学協会情報

第 34 回見学会

「三菱電機(株)名古屋製作所 新城工場 :
汎用モーター鋼板フレーム製造ライン」

1. 主 催 : 日本塑性加工学会東海支部
2. 協 賛 : 日本鉄鋼協会東海支部, 他
3. 期 日 : 平成 3 年 10 月 25 日 (金)
4. 会 場 : 三菱電機(株)名古屋製作所 新城工場
〒441-13 愛知県新城市有明字鳥影 1-1
TEL (05362)5-1211(代)
5. 集 合 :
(a)JR 飯田線新城駅前 13:15 (JR豊橋 12:34 発
乗車, 新城駅~工場はバスで送迎いたします)
(b)三菱電機(株)名古屋製作所 新城工場 13:50
6. 内 容 :
13:50~14:30 挨拶および工場概要説明, 等
14:30~15:30 工場見学: 汎用モーター製造ラ
イン
「鋼板フレームモータの新製造技術 (レーザー溶接
による鋼板フレームの製造)」を中心に
14:30~16:30 講演「レーザー溶接による鋼板フ
レームの製造技術」
7. 定 員 : 30 名 (定員になり次第締切, 同業者はご
遠慮下さい)
8. 参加費 : 無料
9. 申込方法 : ハガキまたは FAX にて「第 34 回見学
会申込み」と題記し, (1)氏名, (2)勤務先・所属部
課名または役職名, (3)連絡先 (郵便番号・住所・
電話番号・FAX 番号), (4)所属学会名, (5)送迎
バス使用の要・不要を明記し, 10 月 12 日(土) ま
でに必着で, 下記宛にお申し込み下さい。
10. 申込先 : 〒466 名古屋市昭和区御器所町
名古屋工業大学 機械工学科, 日本塑性加工学会
東海支部 FAX (052)773-9979
TEL (052)732-2111 内線 2773 (杉本), 2424 (水野)

第 82 回材料セミナー

セラミックス系繊維強化金属基複合材料と強度評価

1. 主 催 : 日本材料学会
2. 協 賛 : 日本鉄鋼協会, 他
3. 日 時 : 平成 3 年 11 月 19 日 (火) 13:30~16:00
4. 会 場 : 日本材料学会 3 階大会議室
〒606 京都市左京区吉田泉殿町 1-101
5. テーマ :
繊維強化金属基複合材料の破壊挙動と強度評価,
セラミックス系繊維とその金属基複合材料への応用。
6. 参加費 : 会員ならびに協賛団体会員 2,000 円,
学生会員ならびに協賛団体学生会員 無料
7. 参加方法 : 葉書に「第 82 回材料セミナー参加」と
記し, 氏名, 勤務先, 連絡先を明記の上, 開催日の
5 日前までに, 〒606 京都市左京区吉田泉殿町
1-101 日本材料学会セミナー係宛 お申し込みくだ
さい。

第 88 回腐食防食シンポジウム

給水・冷却水等の新しい処理方法

1. 主 催 : 腐食防食協会
2. 協 賛 : 日本鉄鋼協会, 他
3. 日 時 : 平成 3 年 11 月 27 日 (水) 10:00~17:00
4. 場 所 : アルカディア市ヶ谷
5. 講 演 :
磁気処理・電子処理等の冷却水への適用の試験結果,
磁気処理等の冷却水におけるスケール防止効果, 膜
式脱気処理の給水赤水防止効果, 磁気処理装置の実
験結果, 磁気処理及び半導体セラミック処理による
水の特性変化とその効果, 磁気処理の歴史と効果の
メカニズム, 中水の磁気処理実験, 異相界面反応を
利用した水処理。
6. 問合せ先 : 腐食防食協会
東京都文京区本郷 4-1-11 YK 本郷 2F
TEL (03)5689-3390 FAX (03)5689-3391

＜60 万人科学者技術者代表集会＞

「基礎研究の振興と工学教育」シンポジウム
—大学の改革と学術法人活性化を目指して—

1. 日 時：平成 3 年 11 月 27 日(水) 13:00～17:45
2. 場 所：KI ビル地下大会議室
東京都港区赤坂 6-5-30 TEL (03)5561-2111
3. 主 催：日本工学会
4. 幹事学会：日本鉄鋼協会、他
5. 参加費：1,000 円(会場整理費) —当日持参—
6. 定 員：300 名(定員超過の場合は抽選)
(プログラム)
13:00～13:15 開会の辞
日本工学会会長 石川六郎
〔基調講演〕
＜座長＞材料連合フォーラム会長 斎藤進六
13:15～14:15 (I)「我が国の工学教育の諸問題」
日本工学アカデミー会長・日本工業教育協会会長
向坊 隆
＜座長＞研究大学院大学学長 長倉三郎
14:15～15:00 (II)「日本の工業と工学の将来」
日本学術会議会長 近藤次郎
〔講 演〕
＜座長＞名古屋大学工学部長 松尾 稔
15:15～15:45 「大学の活性化への提言」
東京工業大学学長 末松安晴
＜座長＞日本工学会副会長 今泉常正
15:45～16:15 「大学の活性化への提言」
東レ(株)会長 伊藤昌寿
＜座長＞日本学術会議会員 佐伯 修
16:15～16:45 「21 世紀をリードする大学へ望む」
経済団体連合会 産業技術委員会政策部会長
清水 栄
16:45～17:30 ＜問題提起＞
「大学の改革と学術法人活性化」(国民の論議を期待して)
日本工学会 政策委員会委員長 内田盛也
17:30～17:40 閉会の辞
日本工学会副会長 堀 幸夫
18:00～20:00 懇親会(会費:5,000 円)
(懇親会については後日参加者にご案内いたします。)

参加申込みについて

1. 参加費：1,000 円(会場整理費) —当日持参—
2. 参加申込：往復はがきに氏名・年令・勤務先・同住所・同電話番号・所属学協会名を明記した上、返信用表に通信先住所・氏名を必ずご記入下さい。
〔FAX でのお申込みは受け付けません〕
3. 申込期日：平成 3 年 11 月 11 日(月) 必着

4. 申込先：〒107 東京都港区赤坂 9-6-41
(社)日本工学会「11 月シンポジウム」係宛
TEL (03)3475-4621 FAX (03)3403-1738
5. 参加証：参加証を 11 月 20 日前後に送りますので、当日ご持参下さい。

第 20 回ガスタービンセミナー
地球環境とガスタービン

1. 主 催：日本ガスタービン学会
2. 協 賛：日本鉄鋼協会、他
3. 期 日：平成 4 年 1 月 23 日(木)、24 日(金)
4. 場 所：川崎産業振興会館 1 階ホール
川崎市幸区堀川町 66-20
5. プログラム：
1 月 23 日(木)
(1)エネルギーと地球環境問題、(2)ガスタービンによるエネルギーの高効率利用システム技術、(3)ガスタービン高性能化(高温化)技術、(4)ガスタービンの環境対策と最新の燃焼技術、(5)環境問題から見たガスタービンと各種原動機エンジンとの比較
1 月 24 日(金)
(6)自動車用ターボチャージャーと環境対策、(7)ガスタービンと石炭利用技術、(8)200 T/D IGCC パイロットプラントの概況、(9)LNG 複合発電の最新技術、(10)チェンサイクルプラントの運転実績
6. 事務局：日本ガスタービン学会
東京都新宿区西新宿 7-5-13 第 3 工新ビル
TEL (03)3365-0095 FAX (03)3365-0387

第 138 回塑性加工シンポジウム
超伝導線の成形加工とその応用

1. 共 催：日本塑性加工学会、日本機械学会
2. 協 賛：日本鉄鋼協会、他
3. 日 時：平成 3 年 10 月 18 日(金) 9:20～17:00
4. 会 場：東京大学山上会館
〒113 東京都文京区本郷 7-3-1
5. プログラム：
金属系超伝導材料の現状と動向、金属系超伝導線材の加工の現状と将来、新しい超伝導材料の利用例、核融合実験装置 JT-60/ITER 用超伝導マグネット、セラミックス系超伝導材料の現状と動向、超伝導膜作成とそのデバイスへの応用、セラミックス系超伝導線材作成とその応用、制御破砕成形によるセラミックス線材化。
6. 定 員：100 名(定員になり次第締切)
7. 参加費：会員 8,000 円(学生会員は半額)(テキスト代含む)テキストのみ必要な場合：会員 5,000 円(共催、協賛学会員は会員扱い)
8. 申込先：日本塑性加工学会
〒109 東京都港区六本木 5-2-5 トリカツビル 3 階
TEL (03)3402-0849

最近の破壊力学とその応用 (実習付)

- 主 催：日本機械学会関西支部
- 協 賛：日本鉄鋼協会関西支部，他
- 日 時：平成 3 年 12 月 17 日 (火)，18 日 (水)
9:20~17:00
- 会 場：(株)島津製作所 三条研修センター
〒604 京都市中京区西ノ京桑原町 1
TEL (075)811-1111
- 題 目：
12 月 17 日 (火)
「破壊力学の基礎と特性評価試験法」
破壊力学概論，破壊じん性とその試験法
(講義，演習，実習)
A 班； B 班；
13:00~14:15 講義 13:00~15:00 実習
14:15~15:00 演習 15:00~16:15 講義
15:00~17:00 実習 16:15~17:00 演習
(講義) 疲労き裂進展とその試験法
(演習) K 値計算の実際
(実習) 破壊力学実験
12 月 18 日 (水)
「破壊力学に基づく設計・保守法」
破壊力学の原子力構造物への応用，航空機における
設計・保守と破壊力学，破壊力学を応用した余寿命
評価と事故解析
「破壊力学の新素材評価への応用」
破壊力学のセラミックスへの応用，破壊力学の先進
複合材料への応用
- 申込締切：12 月 13 日 (金)
- 定 員：100 名
- 参加費：30,000 円

**生態系を考慮した海洋資源開発
「沿岸域を主体とする海洋開発と生態系の関わり」
に関するシンポジウム**

- 主 催：国際海洋科学技術協会
- 協 賛：日本鉄鋼協会，他
- 日 時：平成 3 年 10 月 23 日 (水) 9:30~17:00
- 会 場：ダイヤモンドビル 10F ホール
千代田区霞ヶ関 1-4-2
- プログラム：
生態系とその特性，海洋資源開発とその特性，海洋
資源開発の事例 (エネルギー，生物，空間)，世界に
おける水産資源開発のコンセプト，海洋資源開発の
プリンシプル，調和のある海洋資源開発，今後の課
題と総合討論。
特別講演：海洋環境の日仏比較
- 参加費：協賛団体会員 12,000 円，学生 7,000 円
- 申込締切：10 月 16 日
- 申込み・問合せ先：国際海洋科学技術協会
TEL (03)3667-5350 FAX (03)3667-7174

**第 2 回分子・材料工学へのコンピュータ応用国際会議
(シンポジウム・展示会)**

- 主 催：CAMSE '92 組織委員会
- 協 賛：日本鉄鋼協会，他
- 会 期：1992 年 9 月 22 日 (火)~25 日 (金)
- 会 場：パシフィコ横浜
- シンポジウム (主な内容)：
・高分子，合金，ガラス，セラミックス，複合材料
の設計
・薬物の分子設計，人工タンパク質・生体高分子の
設計
・分子動力学，量子化学，ケモメトリックと化学パ
ターン認識
・材料研究における電子論，半導体材料およびプロ
セスとデバイス
など，19 のシンポジウムで構成され，コンピュータ
支援による分子・材料開発研究に関する論文発表と
情報交換が行われる。
- 規模 (予定)：論文発表 700 件，参加者 1,500 名
- 使用言語：英語
- 参加登録料：
民間 1 事業所 最初の 1 名 95,000 円 (Speaker は
59,000 円)，2 名以後 59,000 円
大学・官公庁・海外の 1 名 45,000 円
学 生 20,000 円
- 問合せ先：CAMSE '92 国際会議 事務局
〒102 東京都千代田区九段北 1-8-10
日刊工業新聞社 国際事業部内
TEL (03)3222-7162 FAX (03)3221-7137

金属材料技術研究所創立 35 周年記念研究発表会

- 日 時：平成 3 年 11 月 14 日 (木) 10:15~17:00
- 場 所：金属材料技術研究所 大会議室 (14 号館 3
階) [東京都目黒区中目黒 2-3-12]
TEL (03)3719-2271 (代)
- プログラム：
「超電導技術 (マルチコアプロジェクト)」
(1) 高温超電導材料の高性能化
(2) 酸化物超電導体の線材化と成膜技術
(3) 超強磁界マグネットシステムの開発とその応用
「新合成技術による材料創製」
(4) 燃焼合成法による化合物材料の製造
(5) 気相-液相-固相反応によるウイスカの作製
(6) 液滴エピタキシ法による擬ゼロ次元半導体の創
製
「金属間化合物材料の開発」
(7) 軽量耐熱 TiAl 化合物の組織制御による高性能
化
(8) 一方向凝固による金属間化合物の室温延性改善
- 参加費：無料

**新超電導材料研究開発のためのデータベース
構築に関する研究成果研究討論会**

1. 主 催：科学技術庁金属材料技術研究所，他
2. 協 賛：日本鉄鋼協会，他
3. 日 時：平成 3 年 10 月 31 日(木) 10:00~17:00
4. 会 場：日本都市センター（第一講堂）
東京都千代田区平河町 2-4-1
5. プログラム：
 - I. データベース
 1. プロトタイプデータベースの構築
 - II. 試料作成およびキャラクタリゼーション
 2. 共通試料作製（企画・選定）
 3. 共通試料作製条件とその問題点
 4. 試料のキャラクタリゼーション
 - III. 超電導の基本特性評価
 5. 輸送法による T_c と J_c の評価
 6. 磁気的特性評価
 7. Energy Gap, NMR
 - IV. 常伝導特性
 8. ホール係数等
 9. 比熱と熱伝導度の評価
 10. 照射特性
 - V. パネル討論（データの評価）
6. 参加費：新超電導材料研究会会員；無料
一般参加者；講演要旨集の実費（2,000 円）
7. 問合せ先：(社)未踏科学技術協会
新超電導材料研究会
〒105 東京都港区虎ノ門 1-2-8
虎ノ門琴平会館内
TEL (03)3503-4681 FAX (03)3597-0535

**第 8 回セラミック・セミナー
「セラミック薄膜-基礎から応用まで」**

1. 主 催：日本セラミックス協会
2. 協 賛：日本鉄鋼協会，他
3. 期 日：平成 3 年 11 月 13 日~15 日
4. 場 所：相模セミナーハウス
神奈川県綾瀬市吉岡 305
5. 参加費：協賛学協会会員 65,000 円
(宿泊費，食費，テキスト代，消費税を含む)
6. 定 員：60 名（定員になり次第締切）
7. 内 容：
 - (1)セラミック薄膜とは何か，本質は。(2)セラミック薄膜を調べる（評価法）。(3)セラミック薄膜を作る（製膜法と周辺技術），○PVD，○CVD，○ディップコート。(4)セラミック薄膜最先端，○セラミック系スパッタリングターゲット，○ダイヤモンド薄膜，○アモルファス薄膜，○半導体薄膜，○超伝導薄膜，○光磁気ディスク，○サーマルヘッド。
8. 申込先：〒169 東京都新宿区百人町 2-22-17
日本セラミックス協会セラミックセミナー係
TEL (03)3362-5232

第 26 回空気調和・冷凍連合講演会講演募集

1. 共 催：空気調和・衛生工学会，日本冷凍協会，
日本機械学会（幹事学会）
2. 協 賛：日本鉄鋼協会，他
3. 期 日：平成 4 年 4 月 21 日（火），22 日（水）
4. 会 場：総評会館・大会議室
東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
TEL (03)3253-1771 (代)
5. 応募資格：講演発表者（登壇者）は，いずれかの共催学協会の会員であることが必要です。未加入の方は，お早目に加入手続き（入会）を取って下さい。
6. 申込締切日：平成 4 年 1 月 13 日（月）必着（消印有効ではありません）
7. 原稿締切日：平成 4 年 2 月 28 日（金）必着（消印有効ではありません）
8. 参加登録費：一般 2,000 円，学生 1,000 円（参加者 1 人分，当日会場受付にて徴収）
9. 原稿枚数：1 292 字詰め原稿用紙 4 枚（図，表，写真を含む）
10. 申込み・問合せ先：〒151 東京都渋谷区代々木 2-4-9 新宿三信ビル 5 階
第 26 回空気調和・冷凍連合講演会係〔担当 近藤〕
TEL (03)3379-6781 (代) FAX (03)3379-0934

**第 14 回材料講習会
「粉を形にする最新の技術」**

1. 主 催：日本材料学会
2. 協 賛：日本鉄鋼協会，他
3. 期 日：平成 3 年 11 月 25 日（月），26 日（火）
4. 会 場：梅田センタービル 31 階大会議場（三田出版会）大阪市北区中崎西 2 丁目 4-12
5. プログラム：
 - 第 1 日 11 月 25 日（月）
高濃度分散系のレオロジーと成形，高充填系材料の流動シミュレーション，金属粉末を用いた射出成形，最新の HIP 成形技術，最新の反応押出し成形技術，無機系建材の押出し成形
 - 第 2 日 11 月 26 日（火）
金属粉末の押出し成形，ファインセラミックスの鑄込成形，最近のテープ成形技術，超電導材料の線材化，成形技術の将来への期待
6. 定 員：100 名
7. 参加費（テキスト代含む）：会員（一般 28,000 円 大学・官公庁 18,000 円 学生 8,000 円）
協賛学協会の会員である会社，工場よりお申込みの場合，参加者が非会員でも会員扱い
8. 申込締切日：平成 3 年 11 月 15 日（金）
9. 申込先：〒606 京都市左京区吉田泉殿町 1-101
日本材料学会第 14 回材料講習会係
TEL (075)761-5321

第 6 回「大学と科学」公開シンポジウム

「21 世紀の材料科学—複合機能・高性能材料の新世界」

1. 主 催：21 世紀の材料科学
2. 後 援：日本鉄鋼協会，他
3. 期 日：平成 3 年 12 月 18 日（水），19 日（木）
4. 会 場：経団連ホール
東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 14 階
5. 内 容：
第 1 日目 10：00～17：05
総合講演（材料科学とこれからの材料），電気伝導性のある高分子材料（伝導性ポリマーブレンド），界面，表面を利用した材料，力学的性質向上と材料開発（先端材料の力学的性質，セラミックス基複合材料の靱性評価）
第 2 日目 9：50～17：00
分子の配向を利用して作った材料（高分子/液晶複合膜の電気光学効果，題名未定），極限プロセスを利用した材料の作製（ダイヤモンドの機能材料化，原子 1 個 1 個を STM で積み上げる），結晶中での素材作製（結晶中での分子反応の動的過程，固相における有機光反応とその応用）
6. 問合せ先：「21 世紀の材料科学」事務局
（株）クバプロ 松田國博 江崎常夫
〒102 東京都千代田区富士見 2-3-1 信幸ビル
TEL (03)3238-1689 FAX (03)3238-1837

HPI 技術セミナー（大阪地区）

圧力設備の材料，設計，施行維持管理

1. 主 催：日本高圧力技術協会
2. 協 賛：日本鉄鋼協会，他
3. 期 日：平成 3 年 12 月 3 日（火）：基礎コース
12 月 4 日（水）：応用コース
4. 会 場：大阪科学技術センター 小ホール（12/3）
大阪科学技術センター 702 号室（12/4）
5. プログラム：
材料選択のキープポイント，強度設計の基本的考え方，溶接技術の基本，新しい表面塗覆装，高圧設備の保全，TMCP 鋼板の PWHT，Advanced NDE，ABWR の概要，破壊事故は何故起こるか，压力容器の信頼性と技術基準。

6. 定 員：60 名
7. 参加費：協賛団体会員 基礎コース，応用コースとも 27,000 円，全コース 35,000 円
8. 申込み・問合せ先：
〒101 東京都千代田区神田佐久間町 1-11 産報佐久間ビル 5F
TEL (03)3255-3486～7 FAX (03)3255-3488

超高温材料国際シンポジウム

超高温材料に対するニーズ面からのアプローチ

1. 主 催：超高温材料研究センター，他
2. 協 賛：日本鉄鋼協会，他
3. 日 時：平成 3 年 12 月 5 日（木）9：30～19：30
平成 3 年 12 月 6 日（金）9：30～16：00
4. 場 所：
シンポジウム；多治見市文化会館
多治見市十九田町 2-8 TEL (0572)23-2600
交流会；多治見美濃焼卸センター協同組合会館
多治見市旭ヶ丘 10-6 TEL (0572)27-7111
5. プログラム：
①HOPE（日本）開発における超高温材料
②NASP（アメリカ）開発における超高温材料
③エルメス（フランス）開発における超高温材料
④ブラン（ロシア）開発における超高温材料
⑤スペースプレーン用エンジン開発における超高温材料
⑥核融合炉開発における超高温材料
⑦高効率ガスタービン開発における超高温材料
⑧超超臨界圧ボイラー開発における超高温材料
⑨超高温材料の評価試験技術
⑩宇宙環境と耐環境性試験
⑪新素材に対する設計データベース
6. 問合せ先：〒567 岐阜県多治見市東町 3-1-8
超高温材料研究センター 岐阜センター
TEL (0572)25-5380 FAX (0572)25-5382